

Japanese Unexamined Utility Model Publication No. 59-42741  
Published on March 21, 1984

Title

Room mirror for automotive

Scope of Claim

A room mirror for automotive, comprising: a mirror body a rear face of which is in contact with a front face of an existing mirror; an upper clamper protrudingly fixed to an upper rear face of said mirror body; a lower clamper protrudingly disposed to a lower rear face of said mirror body; a guide mechanism supporting said lower clamper such that said lower clamper can move vertically relative to said mirror body; a resilient mechanism always suppressing said lower clamper upwards; and a holder in L-shaped, a base portion of which is rotatably supported by a protusion end of said lower clamper.

# 公開実用 昭和 59— 42741

19 日本国特許庁 (JP)

11 実用新案出願公開

12 公開実用新案公報 (U)

昭59—42741

51 Int. Cl.<sup>3</sup>  
B 60 R 1:04  
G 02 B 5:08

識別記号

庁内整理番号  
7443—3D  
7036—2H

43 公開 昭和59年(1984)3月21日

審査請求 未請求

(全 頁)

54 自動車用ルームミラー

東京都新宿区板町3番地株式会  
社カーメイト内

21 実 願 昭57—138384

72 考 案 者 井上弟比古

22 出 願 昭57(1982)9月14日

東京都新宿区板町3番地株式会  
社カーメイト内

72 考 案 者 岩佐至悦

東京都新宿区板町3番地株式会  
社カーメイト内

71 出 願 人 株式会社カーメイト

東京都新宿区板町3番地

72 考 案 者 中込菊男

73 代 理 人 弁理士 澤本誠一

## 明 細 書

## 1. 考案の名称

自動車用ルームミラー

## 2. 実用新案登録請求の範囲

自動車用ルームミラーの前面にその背面が対接されるミラー本体と、このミラー本体の上部背面に突設固定した上部クランパーと、下部背面に突設した下部クランパーと、この下部クランパーをミラー本体に相対的に上下動自在に支持するガイド機構と、前記下部クランパーを常時上方に抑制する弾性機構と、前記下部クランパーの突出端部にその基部を回動自在に枢支したL字状ホルダとより成ることを特徴とする自動車用ルームミラー。

## 3. 考案の詳細な説明

本考案は自動車用ルームミラー、特に既設のルームミラーに覆せて用いる広角の自動車用ルームミラーに関するものである。

一般に自動車においては、後方を確認するためのミラーとしてアウトサイドミラーのほかに

車内に設けられるルームミラーが必要である。而して従来のルームミラーにおいては通常平面鏡が用いられ、従つて当該ルームミラーに映ずる視野が狭く、後方の確認を常に完全に行うことができない。しかも既設のルームミラーは自動車のメーカー或いは同一のメーカーであつても車種によつて異なる手段で取付けられているため、広角のミラーに交換するためには既設のルームミラーの取付方式に応じた広角ルームミラーが必要であり、費用も高いものとなる。

本考案は上記の如き欠点を除き、自動車のメーカー、車種を問わず如何なる自動車にも適用することができる広角のルームミラーを提供するものである。

本考案の自動車用ルームミラーは、自動車用ルームミラーの前面にその背面が対接されるミラー本体と、このミラー本体の上部背面に突設固定した上部クランパーと、下部背面に突設した下部クランパーと、この下部クランパーをミラー本体に相対的に上下動自在に支持するガイ

ド機構と、前記下部クランバーを常時上方に抑制する弾性機構と、前記下部クランバーの突出端部にその基部を回動自在に枢支したL字状ホルダとより成ることを特徴とする。

以下図面によつて本考案の実施例を説明する。

図中1は広角ミラー本体、2はその機枠を示し、本考案においては機枠2の上部背面に既設のルームミラー3の上面に対接される上部クランバー4を突設固定し、機枠2の下部背面に既設のルームミラー3の下面に対接される下部クランバー5を突出して設ける。

この下部クランバー5は第3図～第5図に示すように機枠2の背面から突出するクランプ部分6とこのクランプ部分6から直角に上方に折れ曲つた短柵部分7とより成るL字状の板によつて形成し、この短柵部分7にはガイド溝8を設け、機枠2に突設したガイドピン9をこのガイド溝8内に係合せしめ下部クランバー5を機枠2に沿つて上下に摺動自在にガイドせしめるようにすると共に機枠2に取り付けたばね10

の遊端を前記短欄部分 7 の上部に係合して下部クランパー 5 を機枠 2 に相対的に常時上方に抑制せしめる。

又前記クランプ部分 6 の突出端部にはピン 11 を介して L 字状のホルダ 12 の基部を回動自在に枢支し、このホルダ 12 の一方の遊端上面には突起を有するゴム片 13 を被着し、このゴム片 13 の突起が既設のルームミラー 3 の下面に対接されたとき、ホルダ 12 の他方の遊端が既設のルームミラー 3 の背面中央部に対接されるようにする。

本考案自動車用ルームミラーは上記のような構成であるからその使用に際しては先づ第 4 図に示すように下部クランパー 5 を機枠 2 に相対的にばね 10 に抗して下方に押し下げ上部クランパー 4 と下部クランパー 5 間の間隔を十分な大きさとし既設のルームミラー 3 を前記上部クランパー 4 と下部クランパー 5 間に位置せしめた状態で下部クランパー 5 を釈放すれば下部クランパー 5 がばね 10 の作用で機枠 2 に相対的

に上方に移動し上部クランパー 4 と下部クランパー 5 に設けたホルダ 1 2 によつて既設のルームミラー 3 をその上下より強固に保持するようになる。

而してこの際第 3 図に示すようにホルダ 1 2 の一方の遊端が既設のルームミラー 3 を上部クランパー 4 に向つて上方に押圧する力  $P$  を発生すると共に他方の遊端が既設のルームミラー 3 の背面中央部を横方向に押圧する力  $P'$  を発生し、結局ミラー 3 は上、下、背面の 3 点で支持されることになりミラーの取付が一層完全となるばかりでなくミラーの角度を手動で調節する際にもみだりに外れることがない等大きな利益がある。

#### 4. 図面の簡単な説明

第 1 図、第 2 図は夫々本考案自動車用ルームミラーの平面図及び正面図、第 3 図は既設のルームミラーに取付けた状態の側面図、第 4 図、第 5 図は夫々一部のミラー部分を除いて示したその正面図である。

6

1 … 広角ミラー本体、2 … 機枠、3 … ルーム  
ミラー、4 … 上部クランパー、5 … 下部クラン  
パー、6 … クランプ部分、7 … 短柵部分、  
8 … ガイド溝、9 … ガイドピン、10 … ばね、  
11 … ピン、12 … ホルダ、13 … ゴム片、  
P, P' … 力。

代理人 弁理士 澤 木 誠 一



図 1 \*

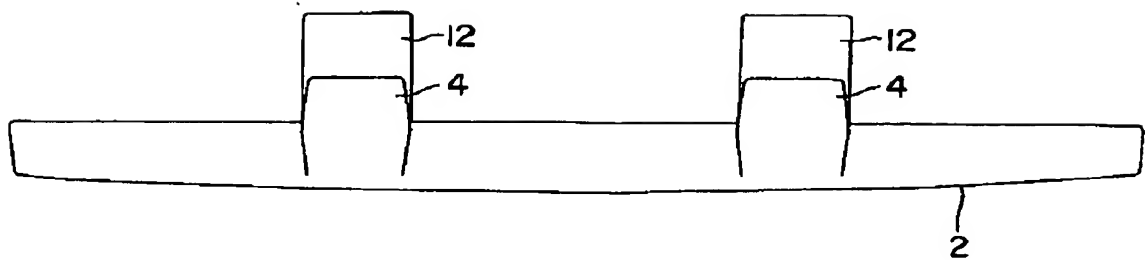
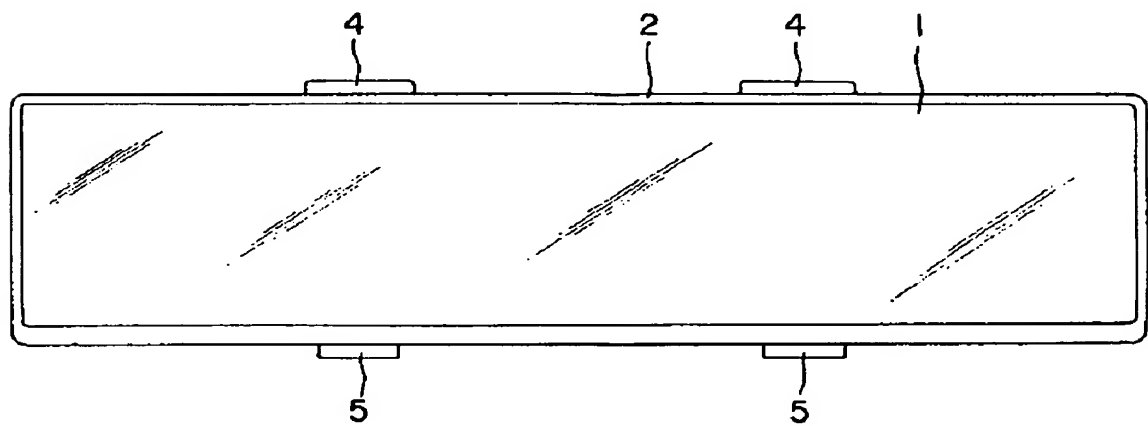


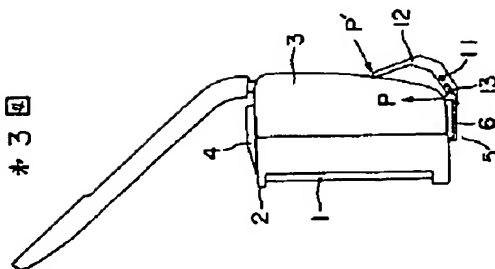
図 2 \*



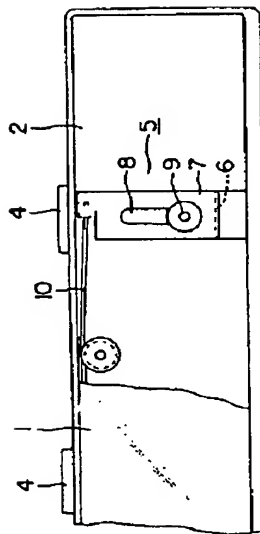
413

実開59-42741

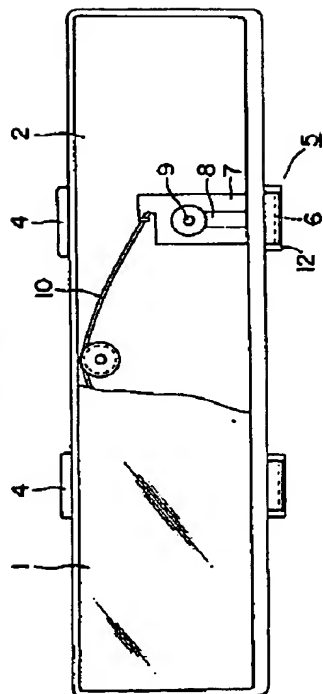
第3図



第5図



第4図



代理人堀江士澤 永誠一